

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市子育てふれあいプラザ	
2	指定管理者	特定非営利活動法人 せんだいファミリーサポート・ネットワーク	
3	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	
4	施設の利用状況	《利用者数》 44,854人（前年度比 89.8%） 内訳 ひろば利用者 41,808人 託児利用者 3,046人 ※視察等の来館者 706人 平成26年度 51,409人 平成27年度 50,703人 平成28年度 49,956人	
		《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供、子育てに関する相談、情報提供等、子育てを総合的に支援する事業	
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 23,694千円 (23,339千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
		《収入》 ・ 使用料収入 6,181千円 (6,427千円) ・ その他収入 386千円 (489千円)	
6	利用者の声	《実施状況》 ・ 意見箱「ご意見バス」の設置 ・ イベント開催時に、参加者に対してアンケートを実施	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し、掲示等により利用者 に周知している。 利用者アンケートの満足度も総じて高く、子育てを総合的に支援し、子育てが安心して できるまちの実現に大きく貢献している。	S
II	施設の運営管理体制	各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化さ れている。 個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取 組がなされている。	S
III	施設・設備の維持管理	乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で、遊具等が破 損していないか、温度は適切かなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適 に利用できるよう維持管理を行っている。	S
IV	サービスの質の向上	各イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置 など、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛 けている。 職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を 図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。	S
V	施設固有の基準	子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把握 しながら、乳幼児親子の交流の場の提供(ひろば事業)や子育てに係る情報収集、一時預 かり事業、子育てに関する情報収集、提供事業などを適切に実施している。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（せんだいファミリーサポート・ネットワーク）による自己評価》
<p>ひろばでは、要望が多かった0歳児専用のスペースを設置、初めて来館した親子が安心していただける場所をつくることができました。子どもたちに人気のエア遊具は、長年使用しているためところどころ経年劣化も見られるが、定期的な専門業者による点検を行うことで、安全に使うことができました。施設全体としては冷房の効きが悪く、夏場の対応に苦慮したが来館者からの苦情には丁寧に対応をし、水分補給などの声掛けも行い事故なく過ごすことが出来た。また、職員の研修参加も積極的に進めスキルの向上に努めた。開館当初から設置していた木の家の大型遊具から子どもの頭が抜けなくなる事案が生じたが、すばやい対応をすることでケガなく無事に救出できた。遊具は撤去した。講座やイベントは利用者の声に応え、0歳児親子の参加するイベントを多く企画、また友だちづくりがよりしやすくなるよう連続講座も開催した。子育てと介護（ダブルケア）の支援につながるよう地域包括支援センターとも連携をした。一時預かりは、既往症、障害等の個別対応が必要な子どももいたが、研修を受ける、専門家に聞く、他館と情報共有をするなど、施設内だけで解決策を考えるのではなく、連携して対応にあたった。相談については、4月から始まった子育て支援専門相談事業の相談員と補助員だけでなく、ひろば・一時預かりでも利用者の声に耳を傾け、相談しやすい雰囲気づくりに努め、専門家による相談もひろばにつながるよう連携をした。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、0歳児親子向けのイベントの充実や、0歳児親子が安心して過ごせる専用スペースの設置、落ち着いた絵本を楽しめるスペースの配置など、利用者の声を積極的に運営に取り入れながら、利用者がより安全かつ快適に過ごせる環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>一時預かり事業では、子育てふれあいプラザの中で最も利用者が多い中、必要に応じて専門機関や関係機関等の協力を得ながら、それぞれの乳幼児の特性に配慮し、適切な対応を行っている。</p> <p>また、保育士等のスタッフと本市からの委託事業により配置された専門の相談員との効果的な連携を図っており、深刻な悩みを抱えている方や専門的な支援が必要な方を早期に発見し、適切な専門機関やサービスにつなげるなど、相談機能の強化に取り組み、子育てに対する不安や負担の軽減を図っている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課